

令和5年度第2回

匝瑳市地域農業経営基盤強化促進計画等策定検討会

(旧:匝瑳市人・農地プラン策定検討会)会議録

開催日時	
令和6年2月5日(月) 13:25~14:40	
開催場所	
市民ふれあいセンター 1階 第1会議室	
出席者	
会長	大木 正俊
副会長	石毛 甲子男
委員	木下 真一、角田 由江、萩原 三江、伊藤 秀雄、 塚本 優、土屋 玲子
事務局	林室長、渡辺主査補、石田(会計年度任用職員)
欠席者	
委員	須合 重徳

会議内容
【次第】
1 開 会
2 会長あいさつ
3 協議事項
(1) 匝瑳市地域計画の進捗状況等の報告について
(2) 椿海地区における地域計画の策定について
4 その他
5 閉会
1 開 会
開会宣言。委員出席状況を報告し、会議の成立を宣言する。
2 会長あいさつ
3 協議事項
(1) 地域計画について
資料に基づき説明
《会長》
御質問、御意見等ありましたらお願いします。

会議内容

《委員》

担い手の位置付けが人・農地プランの「中心経営体」から地域計画では「農業を担う者」になり、担い手が拡大されるとの説明があった。多様な経営体が担い手になることはとても良いことである。国はこれまで、大規模農家の育成に焦点を当てた施策が多かったように思う。この考え方は匝瑳市独自のものか、国や県も同じ考え方であるのか伺いたい。

《事務局》

国の方針として示されており、全国的に同様の取組みを行うこととなる。

《委員》

アメリカやEUでも、多岐にわたる経営体を重要視している。大規模経営を行う少数の者だけでは、地域の防除や災害対策といった、処理しきれない問題が出てくる。様々な経営体が関わりをもっていくことが大事である。

《委員》

アンケートの実施はどのように行う予定か。

《事務局》

アンケートは記名形式で行い、項目はこれから検討となるが、地域計画(案)の作成に必要な事項である「営農の意向」と「農業を担う者」に関する項目は盛り込む予定である。その他、圃場整備の実施や農地貸借に対する意向等も調査できればよいと考える。

《委員》

アンケート実施手段についてはどうか。例えば、現状の農家組合を活用するとすると、機能していない組合もあり難しいと思う

《事務局》

農地所有者等に対して、個別郵送し回収する予定である。

《委員》

土地持ち非農家の意向を把握し、現状分析することができるため、農地所有者を対象とすることは重要である。農家台帳で把握できていない、相対契約による耕作情報も得ることができると思う。

もう1点、本検討会で協議をするにあたっては、地域の農業に関する統計情報を資料にいただければ現状把握ができる。また、農業部門の予算に関する情報も今後、示していただきたい。

いずれにしても市の他の計画との整合性を取ったうえで、農業振興をしていかなければならない。

《事務局》

次回検討会では、資料を用意したい。

《事務局》

地域計画策定に当たって、進め方を確認する。まず、農業の担い手の考え方についてだが、これまで中心経営体が行ってきた農地の集積・集約については、今後も推進を図っていくことが重要である。一方で、水路や農道の管理を含め

会議内容

た地域農業を維持していく上では、大規模経営体だけで担っていくことは難しく、地域が成り立たなくなってしまう懸念が生じる。そこで、大規模経営体以外の農業者や関係者を含めた話合いを通じた中で、地域計画を作っていくことが求められている。今年度は椿海地区が対象となっているが、来年度は他地区に広げていきたい。引き続き、本検討会での審議にご協力願う。

《委員》

集落は運命共同体であることがわかる事例を紹介したい。以前、離農した農業者から「みおざらい」を辞めたいとの意見があった。しかし、水路は農業用排水のほか生活排水にも使用されているところもある。農地と集落は一体であるという認識が薄れていると感じた。

《会長》

地域計画や目標地図を作っていく上で、関係者の話合いを基礎とすることが最も重要であると思う。地域の方の理解を得ながら、作り上げていかなければならない。

(2) 今後の策定スケジュールについて

資料に基づき説明

《会長》

御質問、御意見等ありましたらお願いします。

《委員》

他地区より椿海地区における地域計画の策定を先行するとのことで、これまで2回の話合いが行われているが、協議の中で、今後の戦略作物に対する取組みについてはどうであったか。

《事務局》

協議の中では、担い手の掘起こしを中心とした今後の農地維持等に関する課題が話し合われた一方で、地域として進めていく作物等、営農に関する展望までは話し合われていない。

《委員》

担い手を確保して、地域計画を作り上げていくためには、地域の農業戦略を定め、収益を伴う農業を考えていく必要がある。この点について、ちばみどり農協として、地域計画をどのように考えているか。

担い手育成の観点からみると、米だけではなく、儲かる農業について、ちばみどり農協と一体となって考えていく必要があると思う。地域計画の作成にあたっては、今後の営農について、具体的に踏み込んでいった方が先行事例になるのではないか。

《委員》

他地区であるが、基盤整備事業を進めている地域において、戦略作物を含めた営農計画を、ちばみどり農協を含めて話合いを進めている。

会議内容

《委員》

銚子連絡道路の延伸に伴い、現在市内では新たな工業団地の整備が検討されていると思う。地域計画の作成にあたっては、商工業が関係する他の計画とも一体的に行っていく必要があるのではないかと。

各地区において、事情や環境も異なるため、市がリーダーシップをとっていく必要がある。

《事務局》

現段階で想定している地域計画は、将来にわたって継続した農地利用をするための計画となる。今後の営農計画に焦点をあてている地域計画は事例が少ないと思う。

今回策定する地域計画は完成した形ではないかもしれないが、策定期限に向け、多角的に検討し、計画（案）を作成したい。なお、地域計画は、必要に応じて随時更新することになる。現段階で話し合われていない事項に関しては、今後協議していきたい。

《委員》

担い手を確保するだけの地域計画にとどまらず、ちばみどり農協と一体となり、今後の営農に関する方針を盛り込んだ地域計画としていただきたい。

《会長》

その他、何かあるか。

《一同》

なし。

4 その他

事務局から令和5年度における本検討会の開催スケジュールを案内。

5 閉会

閉会宣言